



県政に勇気！ 南魚沼に元気！

ひぐち
秀 敏

元気通信

2021/12 第10号

発行責任者：柴田恵美子
南魚沼市塩沢1412-2 阿部
ひぐち秀敏後援会事務所
電話・FAX：025-782-5233



米山隆一候補（前列左から4人目）の当選確実を受け、万歳をする支援者。ひぐち秀敏県議（右から3人目）も喜びをともにした=10月31日、長岡市・ハイブ長岡

「米山隆一氏当選確実」午後8時過ぎ、当確の文字がテレビ画面に映し出されると、開票見守り会場の長岡市ハイブ長岡は歓喜の渦に包まれました。

10月31日に投票が行われ、新潟5区は野党統一候補の米山隆一氏が初当選を果たしました。米山氏には、選挙戦で訴えてきた、コロナ

市民と野党の共闘実績を結ぶ

米山隆一氏が初当選

第49回衆議院選挙は、禍で苦しむ人への支援、戸別所得補償制度の復活による中山間地農業の再生、公立・公的病院を維持して地域医療を守る、県民の

信を問わない柏崎刈羽原発の再稼働は認めない政策の実現をめざすことを期待します。



ひぐちも選対長で支える

衆院選新潟5区の投票結果

候補者	南魚沼市	湯沢町	5区計
米山隆一	14,109	2,058	79,447
泉田裕彦	12,528	1,728	60,837
森民夫	3,636	614	36,422

投票日午後10時過ぎ、六日町の勤労会館で開票を見守っていた支援者の所に、米山・室井夫妻が駆けつけ、取り組みへの感謝と、衆議院議員としての決意を述べました。

ひぐち秀敏後援会の会員の多くも積極的に米山隆一氏を支援してきました。リーフレットの配布やテープ街宣を行うことで、米山氏の政策の浸透を図つてきました。

投票日午後10時過ぎ、六日町の勤労会館で開票を見守っていた支援者の所に、米山・室井夫妻が駆けつけ、取り組みへの感謝と、衆議院議員としての決意を述べました。

樋口県議は米山選対の南魚沼選対長を務め、米山候補を支えました。

ひぐち秀敏後援会の会員の多くも積極的に米山隆一氏を支援してきました。リーフレットの配布やテープ街宣を行うことで、米山氏の政策の浸透を図つてきました。

ひぐち秀敏後援会の会員の多くも積極的に米山隆一氏を支援してきました。リーフレットの配布やテープ街宣を行うことで、米山氏の政策の浸透を図つてきました。

ひぐち秀敏後援会の会員の多くも積極的に米山隆一氏を支援してきました。リーフレットの配布やテープ街宣を行うことで、米山氏の政策の浸透を図つてきました。

雪ありて

南魚沼の里にも初雪の便りが届きました。間もなく一面を白く覆い尽くすことでしょう。錦の紅葉も、収量が少なかつた水田も、すべてがななかつたかのように、その雪も、コロナ禍で苦しんでいる人々の暮らし、落ち込んだ経済、その現実は覆い隠すことができない。政府は2021年度補正予算案を閣議決定したが、冷え込んだ人々の暮らしを温められるのか、最大に給付されても2分の1に半減する事業復活支援金、住民税非課税世帯に対象を限定した10万円の給付金では凍えたままの事業者や暮らしを温めることはできない。今こそ、国民の暮らしを温める政策が必要だ。米山隆一氏をはじめ、市民と野党の共闘が送り出した国會議員に期待する（ひ）

12月定例会

一般質問のポイント

ひぐち秀敏県議は、12月定例会で花角知事に対して一般質問を行います。12月6日に行う質問の主なものについて、ポイントを解説します。知事の回答は、2022年1月発行予定の「にじいろ」第11号でお伝えします。

地域医療構想と市民病院再編



各医療圏域における「基本の方針」を策定し、地域医療構想のとりまとめについて、県は市町村を含む関係者と具体的な議論を行つました。一方、南魚沼市は5月に「『医療のまちづくり』に関する

基づき、「大和病院は介護病床への転換可能な施設を新築することなど医師不足の中、県と市が同じ方向をまさしていくことが求められている中、魚沼医療圏における病院機能の調整がどのような状況にあるのか確認します。



県職員は現地採用で必要な職員数と同じ地域に住んでいる職員数が一致していません。知事部局の状況ですが、南魚沼地域では必要な職員190人に対して居住者は107人で、83人も少ないです。

政府は、令和5年度から休日の部活動について、段階的な地域移行を進めることとしています。部活動の方は生徒にとっても大きな関心事ですし、地域に指導者がいるのかなど的问题もあります。

委員会を開催するなどしてきましたが、現在の検討状況と今後の予定を確認します。

加茂・吉田病院はどうなる

県立加茂、吉田病院は指定管理者による管理とする条例案が今議会に提出されました。また、県央地域医療構想調整会議は加茂、吉田病院などの病床数を4~5割程度削減することを合意しました。今後、指定管理者の選定をどのように進めるのか、移行時期はいつなのかを確認します。

吉田病院は施設が老朽化していて、建替えが必要です。建替えを含めた今後のスケジュールについても確認します。両病院には、会計年度任用職員（非正規職員）を含めて約370人が勤務しています。指定管理となることで、現在勤務している職員の雇用をどのように維持していく考え方を聞きます。

県議会12月定例会

期：12月1日(水)
～12月21日(火)

本会議の様子は、中継・録画でご覧いただけます。

検証説明会に委員の参加を

柏崎刈羽原発の再稼働「三つの検証」が行われています。花角知事は、就任後、高齢を理由に、福島原発事故の原因を検討するため、検証委員会に對する知事の考え方を確認します。



総合避難訓練で行われたスクリーニングと簡易除染の訓練 = 11月13日、魚沼市・月岡公演

委員を再任しない、検証総括委員会を開催しないなど、検証委員会が変わったと感じています。改めて、検証委員会に対する知事の考え方を確認します。

11月27、28日に開催された県民説明会には、検証委員会の委員がいなかつたため、参加者

から「残念」との声が聞かれました。私が傍聴した検証総括委員会でも、複数の委員から意見がありました。県の担当課長は否定していますが、改めて委員の説明会への参加を

求めます。

共通リフト券導入に支援を

湯沢町では今シーズ

今年の夏、県は地域

に総括し、今後の観光

活性化リードティングプ

振興に活かしていく考

え考

えか確認します。

から「新しい生活ス

タイルが拡がった」との声も聞かれます。

ば、コロナ後のインバウンド需要を含めた誘客が期待されます。し

かし、設備導入には多額の経費がかかることが

ら、県として補助を行

う考

え考

え考

新潟県警察本部が管理している横断歩道は、下表のとおり今年4月現在、638km余ります。県警本部では、摩耗率を20%ごとの5ランクに分けて評価し、摩耗の激しい1ランク（摩耗率81～99%）から、また、信

横断歩道などの補修急げ

が整備されてい

る

横断歩道など

は安全運転を行なう

うです。

これから

の雪道では横断歩道

や一時停止線が見えにくくな

ります。早期補修を求める

とともに、安全運転を心がけま

号機のある交差点や通学路を優先して補修しています。具体的には、各警察署から上申された補修計画を県警本部で集約し、年3回に分けて施工しています。第一次工事

1億6千万円）の予算が措置

されています。今年度から3年間、別枠で5億円（今年度分）

横断歩道の施工状況

年度	ストック数		停止線含む	
	延長	本数	施工長	施工率
2017	628,760m	28,580本	136,455m	21.70%
2018	631,686m	28,713本	112,856m	17.87%
2019	633,116m	28,778本	126,782m	20.03%
2020	635,272m	28,876本	129,938m	20.45%
2021	637,120m	28,960本	183,121m	28.74%
2022	638,682m	29,031本		

施工長に「抹消」工事の数量は含まない
ストック数及び施工長の小数点未満は四捨五入
ストック数は各年度当初の数
横断歩道は1本あたり22mで距離換算

ひぐち県議は、玄関先や街角でみなさんの困りごとや、ご要望などを聞かせていただいています。即答できないこともありますが、市議会議員や行政の力を借りしながら、課



題の解決に向けて奮闘しています。ときには難しい課題に直面し、悩むこともあるようです。ひぐち県議の日常活動の一コマを、エピソードも交えながらお伝えします。



消えかかっている横断歩道や一停止線を引き直してほしいという要望をいただきます。見守り隊として、地域で子どもたちの登校を見守ってくれている方や行政区長さん、昨年は路線バスの運転手をしてる先輩からもいただきました。

南魚沼警察署や県警察本部の担当者から、線を引き直すタイミングや、年間どのくらい引き直しているのかなど教えていただきました。

県が管理をしている横断歩道（斜め横断可は除く）は、4月1日現在

横断歩道を引き直して

路の横断歩道の補修を最優先にしている」とのことです。

38キロにも上ります。
昨年度、新設や引直しが行われたのは183キロで、保有数に対する施工率は28・74%でした。過去10年間の施工率の単純平均は24・5%で、4年に1度引き直せる計算になります。実際には、同じ所を3年に1度引き直しているところもあるなど、4年で全てを引き直せているわけではありません。

[View Details](#) | [Edit](#) | [Delete](#)

新型コロナウイルス
感染症の拡大で、地域
経済も大きな打撃を受
けています。市町村も支援策を講じ
ていますが、困ってい
る全ての人
に支援が行
届いている
わけではありません。
先日も小売業を営む
知人から支援を求めら
れました。コロナ以前
と比べて売上げが9割
以上減少したといいま

「住民税非課税世帯にも10万円の給付金は支給されますか」。友人からたずねられたと いう女性から電話がありました。11月中旬のことです。

「18才以下だけなら不公平だ。生活に困っている人にも支給すべき」政権与党が合意したので住民税非課税世帯にも支給されると 思いますが、決定では

政策実現には投票が大切

でお伝えしましたが、飲食業等への感染防止対策資金補助や県民宿泊割引も、個人経営の小さなお店や民宿などへは届いていませんで

ウイルスで、地域打撃を受け国や県、策を講じ困っている「にじいろ」第9号

す。持続化給付金で一息ついたものの、現在はアルバイトをしながら生活しているそうです。

困っている人に届く支援策こそが求められています。

私も地域の方の声をうかがつたり、業者団体や事業者の方を訪ねて実情をうかがつてしまふが、

ありません」「いつ決
まります」こんなやり取りがしばらく続きました。
した。
その後は、いつ、ど
こで、どのようにして
政策が決まるのか、本
当に困っている人たち
の声がどうしたら届く
会予定の臨時国会で予
算が成立して初めて決
まります」こんなやり
取りがしばらく続きま
した。
%と戦後3番目の低さ
でした。最後は「投票
に行かないといけない
ね」ということでお互
い納得して電話を切り
ました。